

【ニュースレター】 第39号 学校と演奏家の感想です

～「子どもたちに本当に聞かせたい音楽」「地域の人にも聴かせてあげたい」～

今回は前期の演奏活動についての先生と演奏家の感想をお届けします。



(大船渡市立立根小学校の皆さん・古川展生さん・塩入俊哉さん)

＊「コンサートの後、子ども達が日常生活で触れている音楽はどんな音楽なのか、とあらためて考えさせられました。ほとんどが電氣的処理をされて短くて耳触りの良い。しかもリズムだけが強調された音楽で、1年程度で消えていくものだということを再認識しました。聴かせて頂いた音楽は、本当に子ども達に聞かせたい音楽でした。圧倒的な音の存在感と質感が五感を通して伝わってくるように思いました。また、曲の持つ力と込められた願い、意味や印象が時代を超えて存在し続け、演奏家がこれを汲み取り表現できることの素晴らしさを感じました。子ども達は演奏家お二人に生き方のモデルを見たようで、自分の夢に向かって頑張る意欲を与えてもらった様に思えます。」

(秋田県仙北市立神代小学校校長 田口和典先生)

＜演奏家の感想です＞

＊「今回はプログラミングを少し変えて、ソナタなど大きな作品を入れてみましたが、とても集中して聴いてもらったので良かった。質問コーナーや子ども達のコーラスのプレゼントなど音楽を通じて相互の関係が築ける事は、ただ“演奏を聴かせる”というより深い学びにつながると思います。」(ヴァイオリン 渡辺玲子さん 大府市立東山小学校にて)

＊「コンサートへ向けてプロセスを踏んでいく段階で、時に楽曲を虫眼鏡で細かく見すぎ、良く見せたいという自身の欲に囚われて、本来一番大切にしなければならぬ曲の持つ性格、鼓動を失いそうになることがあるのですが、子ども達の底抜けに明るいエネルギーあふれる歌声を聴き、等身大の自然な美しさに感激しました。」

(チェロ 横坂 源さん 浜松市立河輪小学校にて)



＜音楽小話＞ 楽器特に弦楽器は湿気が苦手。湿度が高いと湿気を吸収して音の鳴りが悪くなります。

又、乾燥しすぎるとヒビが入ったり、膠(にかわ)で接着している部分が剥がれたりします。弓も同じです。クーラーのない音楽室が多い地方で活動した時のこと。雨模様で湿度が高く心配しましたが、案の定、弓の毛が湿気を吸い込んで伸びてしまいベストな演奏ができる状態にはなりません。クーラーのある部屋で弓を乾燥させ何とか演奏を終えました。そのような状況の中でも演奏家の方が素晴らしい演奏をして下さったのは言うまでもありません。

ほぼ、原文のままで少し長いですが是非お付き合いください。

＜先生方の感想です＞

＊「古川氏のチェロ、塩入氏のピアノはとても迫力があり、ストレートに心に響き、感動で1時間があっという間に過ぎてしまいました。また塩入さんが急きょ伴奏部分を編曲した校歌のプレゼントは鳥肌が立つ思いでした。全校児童や地域の方にも聴かせてあげたい程心にしみる演奏でした。」

(大船渡市立立根小学校 佐々木修正先生)



渡辺玲子さん 山崎伸子さん